

# 営繕のあゆみ2001



沖縄県土木建築部施設建築室





県庁前県民広場

## 目 次

1 発刊にあたって .....	1
2 特 集	
1. 中部福祉保健所 .....	3
2. IT教育センター .....	7
3. 県営天久高層市街地住宅 .....	10
4. 県営平良団地 .....	15
3 主要事例	
① 総 務 部 .....	20
平和の礎追加刻銘工事	
② 企画開発部 .....	21
総合行政情報通信網八重岳中継局整備工事	
③ 文化環境部	
小浜園地トイレ新築工事	
④ 福祉保健部 .....	22
北部健康福祉センター(仮称)増築工事 他1工事	
⑤ 農林水産部 .....	23
沖縄県畜産試験場高品質堆肥処理施設新築工事 他1工事	
⑥ 商工労働部 .....	24
自由貿易地域貸貸工場第二期新築工事	
⑦ 土木建築部 .....	25
本部沿岸壁(-4, 5m)付属施設新築工事 他3工事	
⑧ 教 育 庁 .....	27
中部農林高校校舎改築工事 他2工事	
4 工事概要一覧 .....	29
5 沖縄県行政機構図 .....	32
6 施設建築室の業務紹介 .....	33
7 事業・手続きの流れ/平成13年度部局別委託料・工事費 .....	34
8 編集後記 .....	35

## 特集 1 中部福祉保健所



当施設は、福祉・保健・医療に関する相談窓口を一本化することにより、高齢者や障害者に関する情報を共有化し、統合による総合的な指導支援ネットワークを構築するなど、住民や管内市町村に対し福祉と保健の連携した指導・支援・サービスの提供を図るため、平成14年4月に中部福祉事務所、コザ保健所、石川保健所の統合に合わせて建設した。

### ■設計計画の基本方針

1. 全体計画は、中部合同庁舎としての整備事業であり、将来に向けての発展性を考慮し、敷地の形状を生かした緑地及び駐車場を確保し、隣接した公園と幹線道路との調和を図ることに、地域住民にもやさしい庁舎を計画した。
2. 配置計画は、建物の経済性と快適で効率的な執務環境を確保するために、建物を東西軸に配置し、西日をできるだけ避ける計画とした。
3. 内部計画は、ハートビル法、沖縄県福祉のまちづくり条例及び沖縄市人にやさしいまちづくり環境整備要綱に基づきバリアフリーを実現し、県民に開かれた人にやさしい庁舎として計画した。
4. 防災計画は、本島中部地区における災害時の活動拠点として活用できるよう、災害に対する十分な安全性を備えた庁舎を計画した。
5. グリーン庁舎として地球環境保全対策の推進に資することを目的とし、グリーン化技術を積極的かつ効果的に採用し、可能な限り環境負荷の低減に配慮した庁舎を計画した。
6. 採光による負荷の軽減、雨水利用、夜間電力の利用等による沖縄の自然環境及び省資源・省エネルギーを考慮した計画をした。
7. 地域行政の発信拠点として、高度情報化社会に対応できるインテリジェントビルとして計画した。





福祉保健所北側玄関



1階玄関前ロビー



身障者仕様のエレベータ



1階受付カウンター



2階ロビー受付カウンター



2階各種相談室、バリアフリーの手摺



2階バリアフリーの受付カウンター



北側の美里公園から見た庁舎



中部福祉保健所庁舎



庁舎配置図



## ■中部合同庁舎福祉・保健所棟新築工事

所在地：沖繩市字美里（沖繩市美里支所跡地）  
 工期：平成12年10月11日～平成14年2月28日

構造：鉄筋コンクリート造  
 階数：地下1階、地上3階、塔屋1階  
 敷地面積：19,606.27m<sup>2</sup>（行政棟敷地を含む全面積）  
 建築面積：2,060.34m<sup>2</sup>  
 延床面積：5,075.99m<sup>2</sup>

事業費総計：1,434,596（千円）



多目的ホール

### 設備の概要

電気設備：受電設備／6.6kV 650kVA 発電設備／空冷式 150kVA  
 防災設備／G R型50回線複合盤 照明設備／初期照度制御・人感制御

空調設備：冷房方式／空冷パッケージ（一部水蓄熱）  
 換気方式／全熱交換機・第3種換気

衛生設備：給水方式／高置水槽方式（一部雨水利用）  
 排水方式／建物内分流・重力方式  
 昇降機設備：一般乗用エレベーター（身障者仕様）1,000kg 1基



### <設計&監理>

(有)興洋設計工房・(有)真玉橋設計事務所・(有)マキヤ設備設計事務所 J V

### <施工者>

#### 建築工事

(株)大城組・日進建設(株)・(有)浜元工務店 特定建設工事 J V

#### 電気設備工事

第1工区：照屋電気工事(株)・(有)金星電設 特定建設工事 J V  
 第2工区：光電気工事(株)・神日電機工事(株) 特定建設工事 J V

#### 衛生設備工事

(株)饒波工務店

#### 空調設備工事

(有)クラウン電水工業・(有)山商 特定建設工事 J V・(株)饒波工務店

#### 昇降機設備工事

請負業者：沖繩三菱電機販売(株)

#### 外構工事(1)

(建築・追加)：(株)大城組・日進建設(株)・(有)浜元工務店 特定建設工事 J V

#### 外構工事(2)

(外構)：(有)越来建設



犬抑留施設

## 特集2 IT教育センター



IT教育センターは、急速に変化し進展する情報通信社会の中で、教育・学術・文化等の国際交流が一層盛んになり、国際性豊かな人材が求められていることから、全国初の施設として、IT教育の普及と国際化・情報化に対応できる人材育成を目的に建設した。

### ■設計計画の基本方針

当センターでは、テレビ会議機能、マルチメディア機能を備えたコンピュータまた、音声入力可能なコンピュータや、点字プリンタなどIT関連機器の充実を図ることによって、センターを拠点とした広域教育ネットワーク（学校にいながら、いつでも自主的・主体的に研修が出来る遠隔研修システム）などの充実で、本県におけるコンピュータ学習教育の中核・中核となる施設として整備・計画していくことを基本理念とした。

### 基本計画

1. 高い安全性・信頼性を持つ施設  
 重要な室への免震2重床システム・セキュリティゾーニング
2. 先進性・効率の良い施設  
 情報用PSの有機的配置・効率的な室配置
3. 成長と環境の変化に柔軟に対応可能な施設  
 可動間仕切りの要所配置
4. 価値が持続する良質で経済的な施設  
 ベンチレーションパターの採用・雨水利用



## ■IT教育センター新築工事

事業主管課：教育庁・県立学校教育課  
 所在地：沖縄市字与儀  
 工期：平成13年10月24日～平成14年3月25日

構造：鉄筋コンクリート造  
 階数：地上3階建  
 敷地面積：23,078.00m<sup>2</sup>  
 建築面積：785.54m<sup>2</sup>  
 延床面積：2,125.56m<sup>2</sup>  
 事業費総計：510,119(千円)

### 設備の概要

電気設備：受電設備/6.6kV 375kVA  
 防災設備/10回線副受信機 照明設備/初期照度制御・人感制御

空調設備：冷房方式/空冷パッケージ(一部水蓄熱)  
 換気方式/全熱交換機

衛生設備：給水方式/高置水槽方式(一部雨水利用)  
 排水方式/建物内分流・重力方式

LAN設備：高速光ファイバーネットワーク  
 (外部広域イントラネットシステム)  
 (ルーター、スイッチ、ファイアーウォール)

昇降機設備：一般乗用エレベーター(身障者仕様)1,350kg 20人乗り 1基

### <設計&監理>

(有)創建設計事務所・(有)シオン一級建築設計事務所共同企業体

### <施工者>

#### 建築工事

(建築1工区)：株式会社大興建設  
 (建築2工区)：東建設株式会社

#### 電気設備工事

(電気1工区)：(有)三省電気工事  
 (電気2工区)：丸元電気工事

#### 衛生設備工事

(株)設備技研

#### 空調設備工事

(有)永山水道工事社

#### 昇降機設備工事

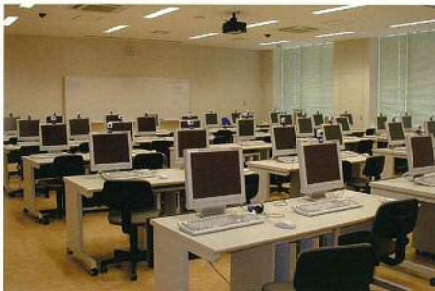
沖縄菱電ビルシステム(株)

#### LAN設備工事

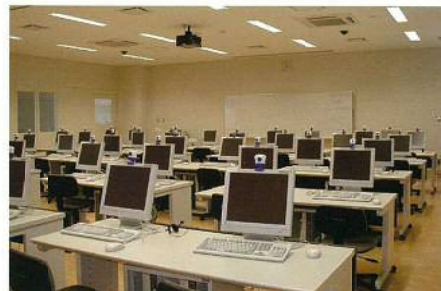
(株)沖電工・沖縄通信ネットワーク(株)JV



南側外観



研修室



研修室



ネットワーク研修室



教育コンテンツ工房

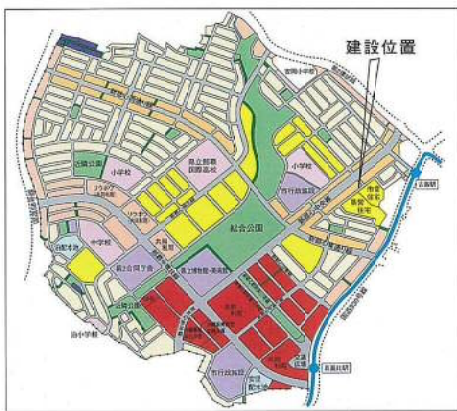




### 1. 建設位置

当該建設地は、那覇市の北に位置する米軍施設の返還に伴う土地区画整理事業によって整備された那覇新都心地区内の北東に位置する。

当該住宅は、基幹道路である国道330号、都市モノレール古島駅（平成15年度開通予定）にも近く、北側には那覇市営住宅、東側には郵便協の古島団地が隣接しており、これらと一体的な集合住宅地を形成している。



#### ※那覇新都心地区

当該地区は、今後の本県中南部都市圏の発展の「核」として、また、米軍返還跡地利用のモデルケースとしての重要な役割を担っており各種中枢機能、景観、快適性等を備えた都市づくりを目指している。

（施行者：地域整備公社）

※郵便協：(財)郵便貯金住宅等事業協会



建物北側



南側アプローチ



建物西側



西側

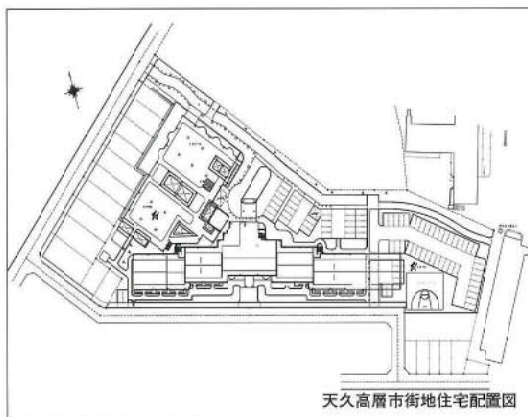




建物南側

## 2. 基本計画概要

那覇新都心地区の「複合的機能を備えた魅力あるまちづくり」というコンセプトを踏まえ、都市モノレール古島駅からのアクセス・沖縄の気候風土に調和した美観の形成・隣接する団地との協調性・周辺環境との共生などに配慮した計画を行った。



天久高層市街地住宅配置図

### 1) 住棟配置

住棟配置は、敷地内に住戸・児童遊園・駐車場・その他の施設を住戸環境、建築基準法及びその他法令、屋外施設の良い環境、周辺建物との位置関係等を考慮し計画した。

- ①各住戸をすべて南向きの配置とし、日照・通風・採光等の居住環境が同等となるよう考慮した。
- ②周辺環境に配慮し、建物の平面形状を雁行とすることで、外観上の視覚的圧迫感を低減するよう努めた。
- ③那覇市営住宅との距離を保ちながら敷地内通路及び駐車スペースを確保し、古島団地と那覇市営住宅とのアクセスにも配慮し、日影規制及び道路斜線制限にも考慮するために南側の6m道路に沿って建物を配置することとした。
- ④一部の駐車場を人工地盤施設の下部に設け、住戸棟とのアクセスへの配慮に努め、その上部を児童遊園とすることで、児童遊園と車道との分離を図った。また、児童遊園は住戸棟の共用部から見下ろすことができる配置とし、児童の安全面にも配慮した計画とした。
- ⑤住戸数を最大限確保するため、建築基準法及びその他法令に考慮し、立面形状を雁行とした。結果的に建物のスカイラインが変化に富む形状となり、視覚的な圧迫感が低減された。



主通路



交流広場



1階エレベーター入り口



住戸洗面室



台所・食堂・居間

## 2) 住棟計画

- ①建設戸数は141戸とし、建物をEXP、Jにより構造上3棟に分割することで建物の安全性を確保する。
- ②共用部であるエントランスホールは開放感のある吹き抜けとし、集会室をエントランスホールに面するよう計画した。これにより、居住者及び団地内外の住民の交流を積極的に誘導するものとする。
- ③居住者同士の交流を促進する空間として、EVホールに隣接して2層毎にコミュニティスポットを設け、木製ベンチを設置し、上部を開放的な吹き抜け空間とした。この吹き抜け空間は上下階における交流の促進にも寄与することとなる。

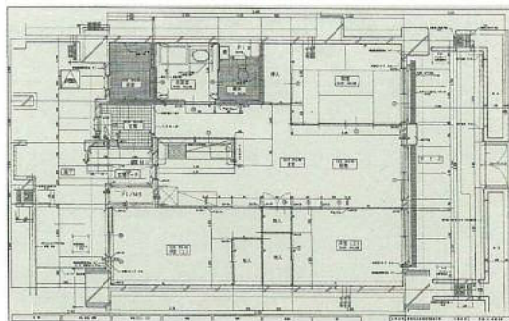


住戸バルコニー

## 3) 住戸計画

- ①身障者専用住戸(4戸)を1階部分に配置し、玄関からテラス(専用庭)さらに外部に至るまでをバリアフリーとし、建物内部の物理的・精神的バリアフリー化を目指した。
- ②一般住戸については、高齢者に配慮しバリアフリー化に努め、玄関・洗面所・便所・バルコニーには手摺りを設けた。また、各部屋のドアは引き戸とし、大きめの引き手を設けて操作しやすいものとした。
- ③居室については、各部屋とも直接外気に接して窓を設けるよう計画し、採光・通風・換気が十分に出来るよう配慮した。また、廊下に面した居室については、アルミ製のガラリを設けプライバシーを考慮しながら積極的な換気が行えるものとし、防犯面においても安全性に配慮した。





■県営天久高層住宅建設工事

所在地：沖縄県那覇市銘苅1丁目  
 工期：平成12年1月27日～平成13年9月24日  
 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造  
 階数：7階～12階・地下1階  
 敷地面積：9,754m<sup>2</sup>  
 建築面積：1,677m<sup>2</sup>  
 延床面積：14,768m<sup>2</sup>

住戸形式及び戸数(うち身障者用)	
4LDK	15(1)戸
3LDK	110(2)戸
2LDK	16(1)戸
合計	141(1)戸

総工事費：2,853百万円

<設計&監理>

(株)国建・(株)総合設計玉城 J V

<施工者>

建築	1工区	(株)沖刺建設・(有)平昌組 J V
	2工区	新松建設(株)・大旭建設(株) J V
	3工区	興建産業(株)・(株)沖縄テック J V
	4工区	(株)大栄建設・太田建設(株) J V
	5工区	(株)金城組・(有)中建設 J V
	6工区	南進建設(株)
人工地盤	南洋土建(株)	
電気設備	1工区	(株)大松建設・(株)光建 J V
	2工区	(株)国場組・(株)安謝橋電気 J V
	4工区	(有)ティアイ電気
機械設備	1工区	南西空調設備(株)・泉水設備(株) J V
	2工区	琉穂建設工業(株)・(株)丸石設備 J V
	3工区	(有)田端設備工業・不二宮工業(株) J V
	4工区	(有)三崎工業
人工地盤	(株)光建	
エレベーター	光電気工事(株)	
電気幹線	琉球通信工事(株)	
屋外整備	津波古組	
畳	1工区	宜保置内装店
	2工区	大山タタミ店
植栽	1工区	(有)前原造園土木
	2工区	金秀グリーン開発(株)



特集4 県営平良団地



当団地は、県営住宅では初めての建替事業である。これまでの団地住民のコミュニティを継承しつつ、さらに良好な居住環境づくりをめざして建設した。

共同生活に不可欠なコミュニティ形成のため、住空間の過度な囲い込みをやめ、プライベート空間とパブリック空間との間に「中間領域」(具体的には外廊下と住戸の間のエントランスコートやライトコート)を設置している。中間領域を設けることで、コミュニティの一体感を創出している。

1. 建設位置

当該建設位置は、平良市の中心市街地より西方の海岸側に位置し、近くには海水浴場として市民に親しまれているパイナガマビーチやカママ嶺公園がある。

周辺道路は、国道390号、県道192号線に近接し、利便性の高い生活環境に恵まれた住宅地となっている。

